

新しい公園と交通を考える まちづくりワークショップ

第3回 NEWS

国東市役所 まちづくり推進課 まちデザイン係
電話:0978-72-5186 FAX:0978-72-9002

テーマ:まちづくりへの想いを深めよう!

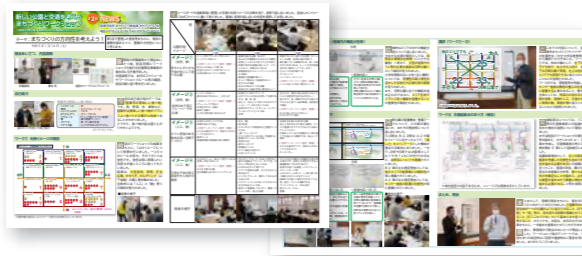
令和5年2月11日(土)

これまでのワークショップの成果を基に、配置計画、センター施設の機能、まちづくりの方向性等について考えます。

開会あいさつ、内容説明



伊藤課長 徳永氏



前回のワークショップニュース

事務局の伊藤課長から開会あいさつ後、前回同様にワークショップの進行を計画策定事業者の徳永氏に引き継ぎました。内容説明では、本日のスケジュールやワークショップルール等の確認、前回の振り返り等を行いました。

自己紹介



金や銀のカップを持って自己紹介

私の特技は

- 顔芸
- 野球
- ぬり絵
- 歩くこと
- 野菜づくり
- 小物づくり
- 絵をかくこと
- おでんをつく
- 耳を動かせる
- 体を動かすこと
- すぐ眠れる(×2)
- 動物に好かれること
- あひるのものまね
- バレーボール・ピアノ
- 釣り(タイ・ヒラメ等)
- 人とすぐに話せること
- 絵、マンガを描くこと

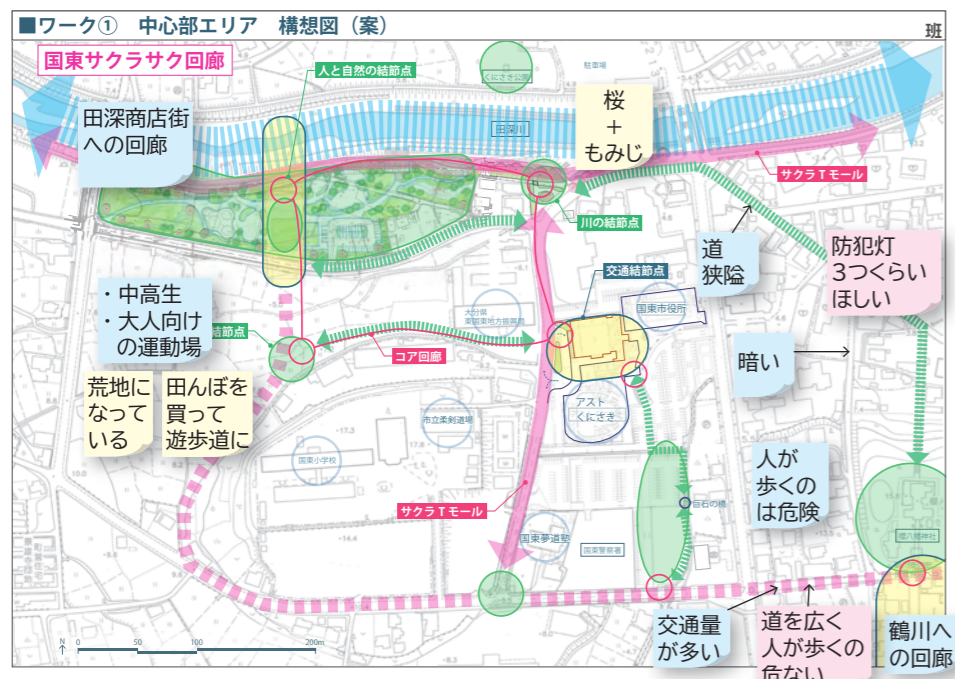
今回の自己紹介時のテーマは、「私の特技」です。

多様な特技を持った、個性豊かなメンバーでワークショップに望みました。国東市には、まちづくりに重要な「人」が充実しているようです。今回は子どもの参加も増えて、さらに楽しい回となりました。

ワーク① 配置計画等の検討

(1) 中心部エリアの検討

□全体構想図 ※各班の内容を統合して表現しました。



これまでのワークショップや交通事業者との協議等を踏まえ、中心部エリアのまちづくりの骨格について検討しました。マップ上のエリアをさらに広げて、田深商店街や鶴川商店街も含んだ回廊を形成すること、桜に加えてもみじ等の四季を感じることが出来る樹種を植えること、公園南側の農地の活用、櫻八幡神社付近の歩行環境の改善等、様々な意見が出されました。



(2) 公園・交通結節点の検討

□公園とその周辺の関係図

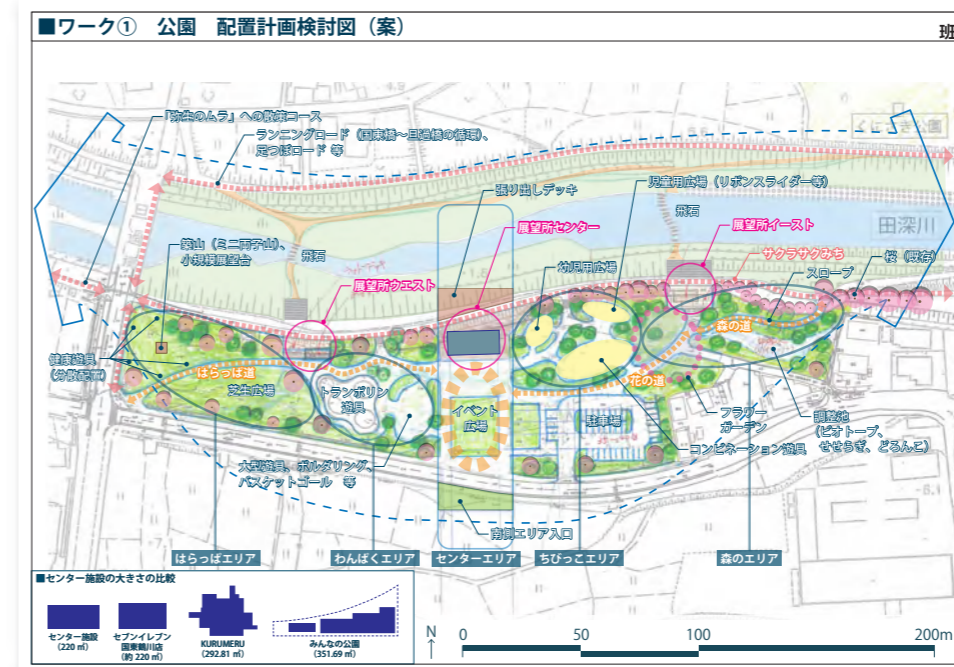


<意見等> ※丸数字は班の番号です。(例:①→1班)

- はらっぱエリア**
 - ②トイレもう一箇所(小さな規模でも良い)
- センターエリア**
 - ①シャワー施設(有料でもOK)
 - ②自動販売機(飲み物、食事)
- その他**
 - ①ライトアップでPR(防犯兼用)
 - ①足つぼロード目指せ世界一!!
 - ①駐輪場が必要(国東中学校自転車通学あり)
 - ①こっちにも桜並木(田深川北側)
 - ②川沿いに健康遊具があっても良いのでは
 - ③河川敷の護岸の為、ヒガン花を植える(モグラ対策)
 - ③バスケ、スケートボード(土以外の遊び場(南側農地))
- わんぱくエリア**
 - ②安岐の大型遊具
 - ②ベンチ、あずまや、日かげ
- ちびっこエリア**
 - ①足を洗う施設
 - ②見わたせるように(ベンチ、あずまや)
 - ③幼児 駐車が近く危ない



□公園 <配置検討案>



これまでのワークショップ等を踏まえて作成した公園の配置計画検討図(案)を基に、各班で検討しました。

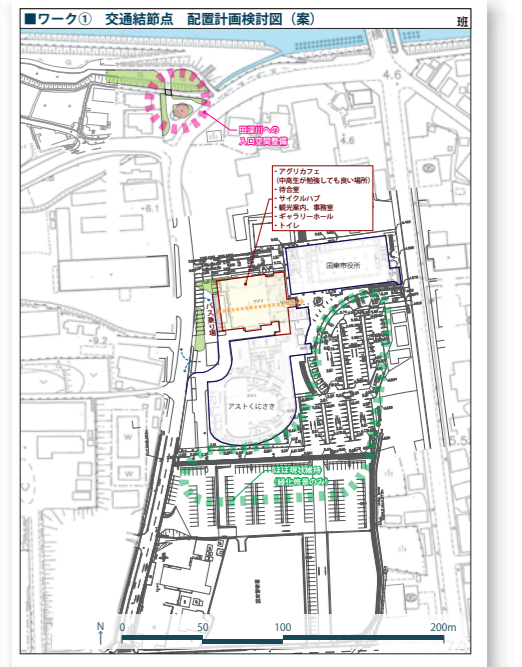
1班では、駐輪場が必要、足つぼロードは公園の中につくる、街灯ライトアップは、曇り気の良い色で治安に配慮する、シャワー施設や足洗い場の設置、田深川北側を桜並木として桜の名所とする等の意見やアイデアが出されました。

2班では、健康遊具の分散配置、はらっぱエリアへのトイレ追加、たいたい公園のような大きな遊具、ちびっこエリアで広場全体を見渡せるような配慮やあずまや・ベンチ等の設置、自販機の設置、南側の田んぼを(市が)買って遊歩道にする等の意見やアイデアが出されました。

3班では、幼児が目を見失ったときに駐車場の方へ行かないかが心配であること、わんぱくエリアとちびっこエリアにきょうだいで分かれて遊びに行った時に親の目が届かない懸念、小学校高学年から高校生までが楽しめるもの(バスケットコート半分、スケートボード等)等の意見やアイデアが出されました。

なお、交通結節点の配置や構成等については、不確定要素が多いことや時間が限られたこともあり、いずれの班からも特に意見は出されませんでした。

□交通結節点 <配置検討案>



ワーク② センター施設等の検討

	センター施設	遊具
1班	<ul style="list-style-type: none"> 「宇宙」を利用しない手はない！ 〇〇の聖地！ カフェができるのが理想 映えスポットほしい 若い人たちが集まる場所 自販機をたくさん 	<ul style="list-style-type: none"> UFO ロケットの遊具 健康遊具を周回させる 大濠公園は良い！！ 宇宙をイメージした遊具 ランドマークになる遊具 目玉になる遊具
2班	<ul style="list-style-type: none"> スタバ テイクアウトハンバーガー 雨でも遊べるように 子どもが見えるようにガラス張り 花 並木があると 遊び道具のレンタル 	<ul style="list-style-type: none"> 遊具事例のほぼすべて ※遊びの専門家（子ども）による検討
3班	<ul style="list-style-type: none"> セブンより大きく 情報交換の場 フリースペース（ワークショップ、子ども食堂 等） 2Fカフェ、食事 地元食材、地産地消 トイレ1F（身障者向け） シャワー 地元食材販売 	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙空港をイメージしたデザイン 大人も一緒に遊べる

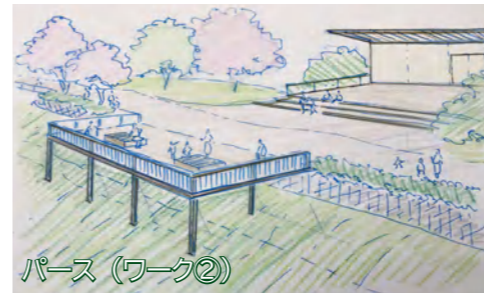


センター施設や遊具について、様々な事例を紹介した後、整備に向けた検討を行いました。

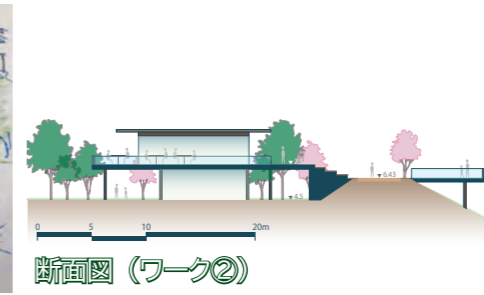
1班では、カップルが集まる映えスポットや聖地、「宇宙」を意識した施設や遊具、カフェが難しい場合のフードやドリンクの自販機設置、コンプリートして楽しむ健康遊具や子ども向け遊具等の意見やアイデアが出されました。

2班では、テイクアウトできるお店、雨天時に遊べる施設（ガラス張り）、花見の名所、遊び道具のレンタル、キッチンカー、ブランコや滑り台等の意見やアイデアが出されました。

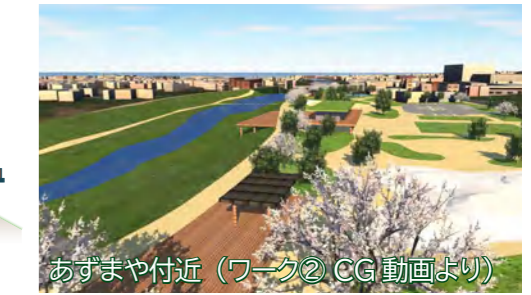
3班では、センター施設1階にトイレ、シャワー施設、地元食材の販売、2階に地産地消のカフェやおしゃべりスペース設置、宇宙をイメージした遊具、アスレチックや健康遊具等を遊歩道に点在させる等の意見やアイデアが出されました。



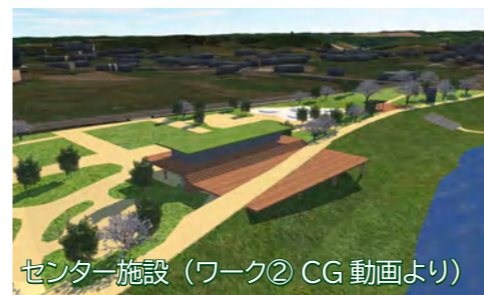
パス（ワーク②）



断面図（ワーク②）



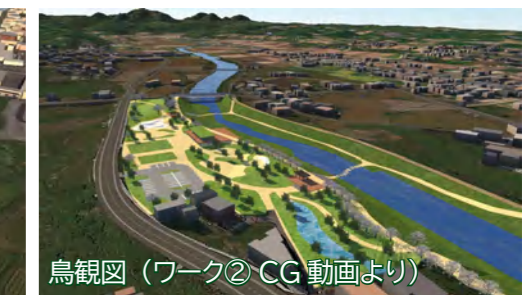
あずま付近（ワーク② CG 動画より）



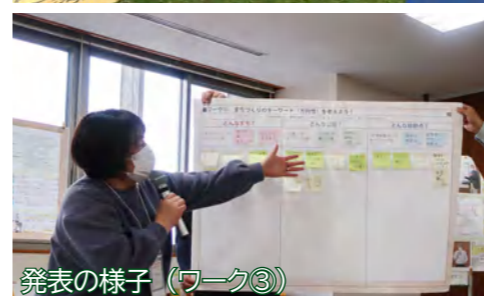
センター施設（ワーク② CG 動画より）



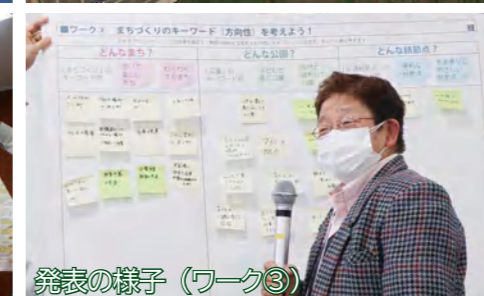
鳥観図（ワーク② CG 動画より）



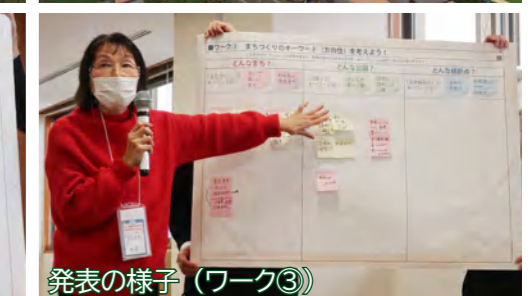
鳥観図（ワーク② CG 動画より）



発表の様子（ワーク③）



発表の様子（ワーク③）



発表の様子（ワーク③）

ワーク③ まちづくりの方向性（キーワード）を考えよう！

	どんなまち？	どんな公園？	どんな結節点？
1班	<ul style="list-style-type: none"> 大人子どもも楽しめるまち わくわく 誰もが安心して暮らせる町 みんなが行きたくなるまち くらしやすいまち 	<ul style="list-style-type: none"> 誰もが楽しめる公園 遊具がたくさんある公園 心も体も元気になる公園 いつも行きたい公園 宇宙に届く公園 たのしい公園 	<ul style="list-style-type: none"> 便利 みんなに優しい わかりやすい結節点 無料シャトル トック トック（バス） 田深や鶴川つなぐ
2班	<ul style="list-style-type: none"> 人が住みつく町 働き場所がある町 住みやすい町 子育て支援 住宅の整備 老後安心して住める場所（福祉、介護） 医療の充実 文化と芸術がある町 いにしへの思いが動く町 教育予算の充実 図書館、教育の充実 宇宙港に係る企業が集まる町 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが集まって喜ぶ安心できる公園 人が集まる公園 自分の時間を過ごせる場所（子どもも大人も） 文化の拠点 また来なくなる公園 みんなで楽しく集う公園 子どもが自力で公園に行ける 親子で楽しめる公園 子どもと一緒に楽しむ公園 遊ぶだけではなく本が読める、作業、勉強ができる公園 Wifi ほしい！ 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの迎え、車をとめやすい駐車場 交通アクセスが良い結節点 お年寄りが利用しやすい
3班	<ul style="list-style-type: none"> じいちゃん、ばあちゃんも孫と遊べるスペース ➡移住したい町！ 三世代一緒に過ごせる場所 外から人が集まるまち 皆を呼びたい国東 帰省して（したくなる）国東 老いも若者、ウォーキング、健康維持できるまち➡医療費の削減、介護保険の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが元気で遊べる公園 幅広い年齢層が遊べる公園 ふれあい宇宙公園 宇宙をテーマ 目的地となる場 季節のとり込みにより感情豊かに！ 春➡菜の花、梅 夏➡ひまわり 秋➡ヒガン花、キンモクセイ 	※意見無し

これまでのワークショップの成果を踏まえ、整備の指針となる考え方や想いをキーワードに込めて、思い付く限り考えました。

1班では、わくわくするまち、地産地消も含め心も体も元気になる公園、ホッとしたい時や疲れて癒されたい時に行きたくなる公園、結節点は分かりやすいことに加えて田深や鶴川とつなぐことが大事等のキーワードが出されました。

2班では、人が住みつく町、仲良く働く場所がある町、子育て支援が充実した町、人が集まる公園、また来なくなる公園、子どもの送迎がしやすい結節点等のキーワードが出されました。

3班では、市外から人を呼びたいようなまち、宇宙をテーマとした「宇宙公園」、食べたり遊んだりふれあったりの中心となり目的地となる場、季節毎の植物で情緒豊かな子どもを育む等のキーワードが出されました。

講評

これまでの内容について、国東市まちづくりアドバイザーの佐藤先生（大分大学名誉教授）から講評いただきました。

「どんなまちにしたいのか」と「どんな公園にしたいのか」が非常に連携していること。つまり、生き生きしたまちにしたい、帰ってきたくなるまちにしたいこと、公園に求められていることが一致していること。皆さんの英知を絞ってつくり上げられたこの構想をもとに必ず実現に向かって動いてほしいこと。参加者の皆さまや事務局は、この計画について市民に周知してほしいこと。

中心エリアの構想図については、鶴川プロジェクトや田深商店街まで広げた形で図をまとめて、重複する取組については各プロジェクト間で調整して役割分担を精査し、相乗効果が期待できるような全体構想図とすること。

計画の細かい部分については、ゾーニングをまたいで空間がつながる連続性を確保すること。ちびっこエリアの中でさらに空間が分かれているところは、保護者等がエリアを見渡せる視線等の、防犯を含む安全性を確保すること（高木の地面から人の身長位までを伐採して管理する、遊具の配置を工夫する等）。田深川の北側にも桜並木を配置すること。大人が走るジョギングコースは、安全のために子どもたちが遊ぶ動線と分けること（公園の外、北側等）。築山付近におけるツリーハウスのようなイメージを持った立体的な公園のゾーン形成。大まかなゾーニングはこれで良いと考えられること。などが説明されました。



まとめ、閉会



まとめとして、皆様の今日までのいろんなご意見や、思いの詰まったたくさんのアイデアをしっかりと受け止めて、佐藤先生からのご意見やアイデアを反映しながら、全体構想図についても視野を広げながら計画をまとめたいと考えています。

最後に、事務局から閉会のあいさつで閉会しました。ワークショップ後のアンケートでは、最終回も多くの肯定的なご回答や熱いご意見を頂きました。おかげさまで、3回にわたり充実したワークショップとなりました。ありがとうございました。